

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月09日

計画の名称	舟橋村における子どもたちの安全確保のための通学路づくり（防災・安全）													
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	舟橋村													
計画の目標	通学路において交通事故の発生しにくい環境づくりを進め、村民が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		335	A	335	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	平成29年度に実施した通学路における緊急合同点検個所のうち、舟橋村道における対策率を40%（H30）から100%（H34）へ上昇させる。			
	事業の進捗率	40%	70%	100%
	各事業の進捗率の平均			

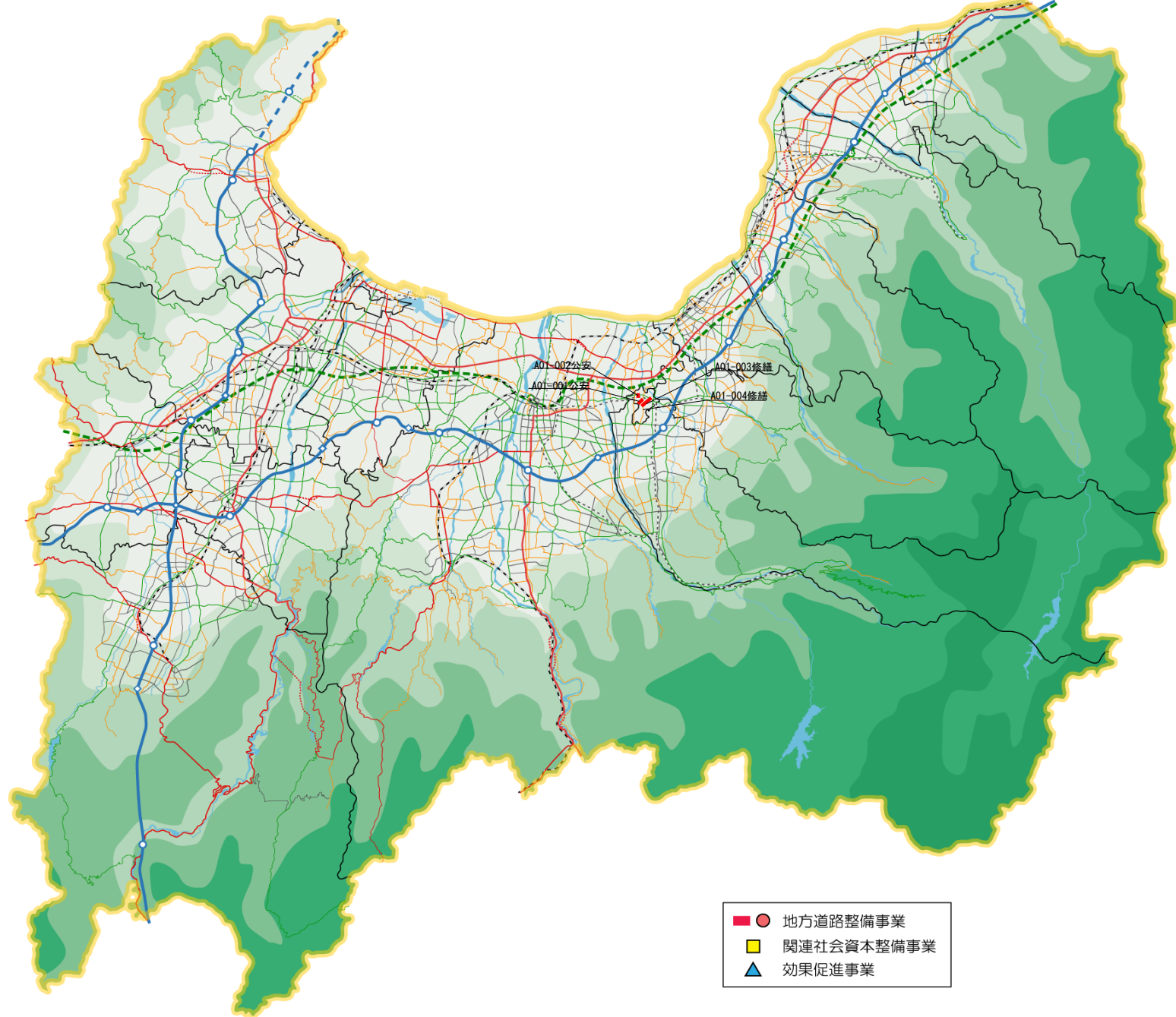
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	舟橋村	直接	舟橋村	市町村道	交安	(他)東芦原舟橋駅線 竹内他	道路改良 L = 480m	舟橋村						206	-	
	A01-002	道路	一般	舟橋村	直接	舟橋村	市町村道	交安	(他)稲荷八幡川線 稲荷	道路改良 L = 140m	舟橋村						64	-	
	A01-003	道路	一般	舟橋村	直接	舟橋村	市町村道	修繕	(他)芦原団地1号線他 東芦原他	舗装修繕 L = 1150m	舟橋村						62	-	
	A01-004	道路	一般	舟橋村	直接	舟橋村	市町村道	修繕	(他)舟橋海老江線他 舟橋他	橋梁点検 13橋	舟橋村						3	-	
											小計						335		
											合計						335		

(参考図面)

計画の名称	44 舟橋村における子どもたちの安全確保のための通学路づくり	交付団体	舟橋村
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）		



社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	舟橋村における子どもたちの安全確保のための通学路づくり(防災・安全)
	計画策定主体	舟橋村
	事業主体	舟橋村
	計画期間	平成30～34年度(5年間)
	計画の目標	通学路において交通事故の発生しにくい環境づくりを進め、村民が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを行う。
	定量的指標 (目標値)	平成29年度に実施した通学路における緊急合同点検箇所のうち、舟橋村道における対策率を40%(H30)から100%(H34)へ上昇させる。
	対象事業	道路事業
	全体事業費	335.2百万円

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	第4次舟橋村総合計画、舟橋村耐震改修促進計画等と整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	安全・安心な暮らしの確保のための整備の目標と一致している。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に合わせた定量的指標となっている。
	2 定量的指標がわかりやすいものとなっているか	○	統計データを基にした指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	対象事業を実施することで、効果が得られるものとなっている。
	4 中間評価・事後評価等に検証可能な適切な指標となっているか	○	村の集計から検証可能である。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	村民の安全や、コミュニティの活性化に配慮した計画となっており、実施される。
計画の実現可能性	1 計画の熱度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	各課と調整しており、円滑に実施できる。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	理解を得られている。
評価結果	<p>評価Ⅰ 事業を実施</p> <p>評価Ⅱ 計画の見直し</p>		<p>【評価基準】</p> <p>「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの</p> <p>「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの</p>